

大和村防災マップ

今里地区

土砂災害危険個所・危険区域図

土砂災害の発生時には、こんな現象が起ることもあります。

- 山崩りがする
- 川の流れが遅い
- 川の水位が下がる
- 斜面から水が噴き出す
- 沢や井戸の水が漏る
- 地面にひび割れができる
- 小石がパラパラ落ちてくる

○いざという時のために、覚えておきましょう。

- 1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリの降雨量になったら注意が必要です。
- 土石流は速度が速いため、土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。
- 日頃から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。

避難時の心得

- ラジオ、テレビで最新の気象情報、洪水情報を入手しましょう。
- お年寄りや子供は、早めに避難が必要です。
- 避難する時の荷物は必要最小限(非常食、飲料水、懐中電灯、携帯ラジオなど)にし、2人以上の避難を心掛けましょう。
- 歩道での避難を心掛けましょう。車を使っての避難には、危険を伴うことがあります。
- 避難する時は、まず水の浸からない道路へ速やかに移動しましょう。
- 洪水による水の流れが、場所によっては相当速いことが予想されます。避難時には、水の流れの速さにも十分注意しましょう。
- 村役場などからの避難の呼びかけがなくても、各人が洪水や崖崩れなどの危険を感じた場合には、自主的に避難しましょう。

○デマにまどわされない!!

災害時は、デマなどに惑わされやすくなります。報道機関や区市町村、消防・警察などから情報に注意しましょう。

○山崩れ・崖くずれ・津波にも注意!!

山崩れ・崖くずれ・津波が発生しそうな地域では、すばやく避難しましょう。

我家の避難場所

津波のしくみ

津波の発生

地震により海底・海面が隆起・沈没

海面変動が大きな波となり四方八方に伝播→沿岸へ来襲

津波の心得

津波情報に注意する

地震が発生したら、テレビやラジオをとおして津波情報を入手することが大切です。津波情報には、常に注意しましょう。

津波の速さ

津波は、海が深ほど早く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速で伝わります。

逆に、津波が陸地に近づくにつれ、後から来る波が前の波に追いつき、高さが高くなります。

安全な場所に避難する

津波の高さとは津波がない場合の高さ(平常潮位)から、津波によって海面が上昇した時の高さを言います。さらに、海岸から内陸へ津波が、かけ上がる高さ(標高)を「津上面」といっており、高さ(標高)には3~4倍程度までなることがあります。

津波の遇上高

津波の高さと遇上する高さ

凡例

| 名 称 | 記 号 |
|-----------------------|-----|
| 避 難 場 所 | (人) |
| 土砂災害警戒区域等 | |
| 土 石 流 特 別 警 戒 区 域 | (赤) |
| 土 石 流 警 戒 区 域 | (黄) |
| 急傾斜地の崩壊特別警戒区域 | (緑) |
| 急 傾 斜 地 の 崩 壊 警 戒 区 域 | (青) |
| 標 高 色 | |
| 10~ 20m | (緑) |
| 0~ 10m | (黄) |